

# 令和5年度 第2回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- |     |     |  |              |
|-----|-----|--|--------------|
| I   | 日時  | 令和6年1月27日(土)   | 16:10~17:20  |
| II  | 会場  | 高志館1階研修室   |              |
| III | 出席者 | 〔評議員〕有賀 泰司(義務教育関係) 傳田 智子(上伊那広域連合)<br>福澤 栄造(自治会関係) 岩崎 靖(同窓会関係)<br>竹中 恵子(保護者)<br>(欠席 平松 浩二(大学関係) 松井 秀之(企業関係))<br>〔職員〕学校長 教頭 事務長 齋藤(教務) 武田(進路・CPA)<br>半場(生徒指導) 瀬戸(特別支援) 山岡(PTA) |              |
| IV  | 次第  | (司会:教頭)  |              |
|     | 1   | 学校長挨拶  |              |
|     | 2   | 第1回評議員会懇談会のまとめ   |              |
|     | 3   | 本校活動中間報告   |              |
|     |     | (1) 学習、進路指導(武田)  | (2) 生徒指導(半場) |
|     |     | (3) 特別支援教育(瀬戸)   | (4) 学校評価(倉澤) |
|     |     | (5) CPA(武田)  | (6) PTA(山岡)  |
|     | 4   | 意見交換   |              |
|     | 5   | 学校長挨拶  |              |

## 1 意見交換で出された意見等のまとめ

### (1) 学校教育全般について

- ・授業を見学させていただいたが、落ち着いて学ぶ環境がある。探究活動を前面に出す教育活動は正しいと思う。助言者の大学教授から生徒たちへのアドバイス「頭を使え」は良かった。
- ・進学校でありながらクラブ活動を大切にしている。クラブ活動から学ぶことも多いので、その方針は継続してほしい。
- ・仕事柄、探究的な学びをサポートして感じることであるが、学校全体でチームとして体制ができているため、質の向上が著しい。総合的な探究の時間で実施している「フィールドワークⅡ」では生徒自身による自主性の向上が、「こんにちは先輩」では運営的にも経験が蓄積され、洗練されてきている。つながりのあるキャリア教育が行われており、小・中・高の連携の上に息の長い取り組みが行われている。後輩を育てようとする意欲が生徒にあり、地域の探究活動を通じ、人生の探究につながっている生徒が育てられていると感じている。
- ・今年度、学際コースの生徒と伊那市議会議員との懇談会が行われたが、臆することなく質の高い質疑が行われた。探究活動の成果が発揮されていた。
- ・カンボジアへの海外交流事業は大きな教育効果もあり、今後も継続してほしいと思う。同窓会からも支援をしたが今後の継続を考えると、制度化した仕組みが必要である。地域でのサポート体制が組めるよう経営者協会等への働きかけ等検討してほしい。さらに、構築したサポート体制を伊那新校へつなげてほしい。
- ・地域の課題研究は中学校でも行われている。高校でも継続して探究活動に活かしてほしい。

(2) 生徒指導及び基本的な生活習慣について

- ・コロナの関係で、対面での学びの経験が少ないためか、中学校では不登校の生徒が増加傾向にある。高校の状況を知りたい。  
➤ (回答) 長期欠席の生徒は一時期増加傾向にあったが、現在は減少傾向にある。

(3) 学習・進路指導について

- ・進路指導において推薦入試よりも一般入試を目標におく意図を教えてください。  
➤ (回答) 生徒は頑張れば3月の最後まで学力が伸びる。大学合格をゴールにせず、最後まで頑張ってもらいたいとの意味であり、一律に一般入試を勧めているということではない。ここ数年で国立大学も含め推薦枠が増加しており、個々に応じた受験指導を行っている。
- ・東京大学に進学した卒業生からの話(先輩講話)はとても参考になったようである。機会をつくっていただいていることに感謝している。
- ・受験のハードさを親子で経験している。模試が練習になっていることがあらためて確認できた。

(4) 情報発信について

- ・クロスペンフォトレターが復活したことは良い。中学校や地元への情報発信は重要なことである。

(5) 高校再編実施計画について

- ・先生方が担当していると聞くと、働き方改革が叫ばれる中、その分のオーバーワークが心配である。
- ・現校舎が姿を消すので、写真部に依頼する等して、現在の校舎や生徒の姿を記録として残しておいていただきたい。
- ・高校再編に係る行事、動き等を伊那北高校の歴史としてしっかりと残して行ってほしい。
- ・上伊那の高校再編計画によりJR伊那北駅の利用者が2000名を超えることが予想され、種々の課題が見え始めてきた。駅周辺の再開発に対し、山寺区としては3年間の特別委員会を作って伊那市や業者との懇談会を行い検討を始めた。「いなっせ」のように高校生が利用できる施設も考えている。また、ある小学校では生徒の4割弱が県外や地区外からの移住者の子供である。今後増加が予想される移住者への対応も検討している。

(6) その他

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、様々な活動がコロナ前に戻ってきた。職員も生徒も疲弊を感じていると思う。働き方改革の一環としての土曜授業廃止は職員にとってだけでなく生徒にとっても良いことだと思う。
- ・同窓会の財団で校舎の下の土地を購入した。生徒が憩いの場として利用できるよう、モニュメントをつくり公園化する予定である。
- ・PTAの未加入についての理由を教えてください。  
➤ (回答) アンケートでは理由を聞いていないので不明である。
- ・生徒が校歌と「天竜河畔」は歌えるようにしてほしい。

- ・学校現場においては徹底したハラスメント排除をお願いしたい。具体的には、授業や部活動指導上のパワハラ、モラハラ。教員の一言で生徒の人生を変えてしまうことがある。
- ・精神的にも肉体的にも「強い」生徒の育成をお願いしたい。令和に入り、多様性や包容力が求められ、マイノリティに対してその価値観を尊重し認め合う時代になってきている。しかし、それはただ単に「人を甘やかす」とか「何でもかんでも許す」というものとは違う。画一的な価値や普遍的な考え方は必ずあるはずなので、学校は自信を持って、指導・教育していただきたい。

## 2 今後に向けて

本校の探究を軸にした教育活動及び生徒の様子等については高い評価をいただいた。学校評議員懇談会でいただいたご意見、ご助言を全職員で真摯に受け止め、今後の教育活動等に活かしてまいります。